

ちよっと寄り道 **食を通じて 北海道の魅力を発信**

昨年はInstagramを通しておいしいものをたくさん紹介しました。白い恋人とコラボした雪見だいふくやお米にホタテ、挙げだしたらキリのないくらい。今回はSNSに載せきれなかったものをご紹介！今年はどんなおいしい北海道に出会えるのか…？お時間がある際にはぜひチェックしてみてくださいね！



音威子府村のジェラート



セブンイレブンでの北海道フェア



ぴっふいちこ



カステラ

北海道の魅力を発見 **知事のテレビ出演がありました！**



昨年日本テレビで放送された「世界一受けたい授業」に講師として鈴木知事が出演。都道府県魅力度ランキング15年連続1位に輝く北海道のオススメを紹介しました。ホタテバターをスタジオで実践するため、知事の自宅でも焼き加減を練習したそう。おいしいと大好評でした。

**防災対策のすすめ**

このたびの能登半島地震で被災された方に謹んでお見舞いを申し上げます。地震などの災害はいつ起こるかわかりません。皆さん日頃の防災対策はされていますか？ちなみに鈴木知事は普段から携帯型ペンライトやホイッスルなどを持ち歩いています。また、事務所スタッフのオススメは…美瑛選果さんの「びえいの丘めし」です！長期保存できる防災食として常備するのはもちろん、簡単においしいごはんが食べられます。



まめちゃん **日記**



秋には奈井江町をお散歩したり、キュンちゃんの着せ替えを楽しんだり、落ち葉をふみふみ雪のふかふかを楽しみました。また今年の鈴木知事の誕生日には北海道産のさつまいもカップケーキに興味深々！さあ今年は何を楽しむのでしょうか…？まめちゃんの表情にもご注目あれ！

**公式サイトがリニューアル**

鈴木知事の公式サイトがリニューアルしました。これまでの取り組みや、道内各地を訪問する「なおみちカフェ」の詳細、後援会報のバックナンバーなどがご覧いただきやすくなったほか、新たに「サポーター」のページも設けました。新しい鈴木知事の写真も盛り込んでいますので、ぜひアクセスしてくださいね！



鈴木直道 **2024 SPRING** Report Vol.9 道

【活力あふれる北海道の未来を実現する会会報】 鈴木直道レポート 9号

**北海道の力が、未来を変えていく**



**ごあいさつ**

こんにちは、鈴木直道です。元日に発生した能登半島地震では、甚大な被害が生じ、被災された方々は厳しい寒さのなか、大変厳しい状況に見舞われました。このたびの災害を踏まえ、私は、危機対策に万全を尽くすこと、そして、知事就任以降、最優先に掲げ取り組んできた「道民の皆さまの命と暮らしを守り抜く」、その決意を一層強くしました。北海道を取り巻く環境は大きく変化し、そのスピードは増えています。先行きが不透明な時代だからこそ、北海道の「いま」を見極め、将来を見据えた取り組みを加速する必要があります。「安心して住み続けられる地域の実現」「北海道の魅力を世界に発信」という視点に立ち、私自身、全道各地へ足を運び、現場主義を徹底しながら、北海道をさらに前に進めてまいります。

プロフィール／1981年生まれ。埼玉県出身（本籍は夕張市）。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に就任

**政策紹介**

総額3兆215億円の2024年度一般会計予算を先の道議会で議決いただきました。当初予算が3兆円を超えるのは4年連続です。重点政策に位置付けた「安心して住み続けられる地域を創る」ための防災・減災をはじめ、子ども応援社会の実現などに向けた予算を計上。また、「北海道の魅力を世界に発信」に向けたデジタル関連産業の集積や再生可能エネルギーの活用促進などにも力を入れました。地域と世界の視点に立った北海道の持続的な発展に結びつける取り組みを加速します。



北海道庁の令和6年度重点政策の概要へのリンク↑



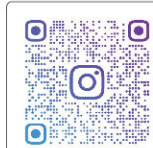
140文字でいち早く最新の情報をお届けします



鈴木知事の活動をじっくり読みたい方はこちらを！



北海道大好きな鈴木知事の日常を写真で掲載しています



鈴木直道レポート 9号

〒060-0032 札幌市中央区北2条東1丁目2-10 TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080 令和6年4月発行

## オホーツク

### 「関係人口」拡大への取り組み

昨年10月、美幌町、津別町、北見市、訓子府町、置戸町、遠軽町を訪問。地域交流拠点の運営など関係人口拡大に向けた取り組み、こだわりの農業の取り組みなど、各地で活躍する方々からお話をうかがいました。



## 道央

### 地産地消や体験型観光



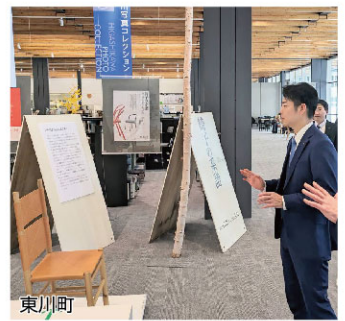
昨年11月、当別町、江別市、新篠津村を訪問しました。カカオ栽培からチョコレートができるまでの過程を学べる体験型施設、地元産小麦を使ったパン製造・販売施設、新しい天文台を活用した地域おこしなど、創意あふれる取り組みを再発見しました。



## 道北

### 地域資源を活かす新たな挑戦

今年1月、当麻町、東川町、鷹栖町、旭川市、美瑛町を訪問しました。地元の水と米で仕込んだ日本酒づくり、道産木材を使ったサテライトオフィスでの挑戦、住民参加型の介護予防の取り組みや遊休施設を活用した藍染め施設を視察しました。



## 「オール北海道」で半導体・デジタル関連産業振興

次世代半導体の開発、量産をめざすラピダス社への追加支援として、経済産業省は4月に最大5900億円の補助を決めました。2023年度までの補助と合わせ、支援総額は計9200億円の巨大プロジェクトです。



また、昨年11月にはソフトバンク社が、再生可能エネルギーを100%利用することを目指す日本最大級のデータセンターを苫小牧市に建設すると発表。道が立地を働きかけてきたもので、「北海道データセンターパーク」の取り組みを一層促進させる基幹インフラに位置づけられます。

道では「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」を策定し、半導体やデジタル産業を集積。農林水産業や観光業、暮らしのスマート化、関連投資や関係人口の拡大などの効果を積極的に取り込み、本道全体の経済活性化と持続的発展につなげていきます。

## 地域探訪 鈴木直道の179市町村、おじゃまします!

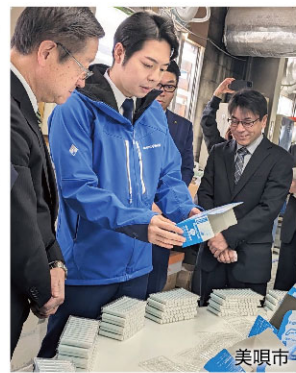
地域での取り組みについて直接お話をうかがう「スクラムトーク」「なのおみちカフェ」などを通じ、鈴木知事は道内各地を訪問しています。北海道は2023年度の「地域おこし協力隊」が1084人と初めて1千人を突破し、全国1位(2位長野県461人)。隊員をはじめ、各地で活躍する皆さまのもとにおおかげがいます!



## 空知

### 地域にかける熱い思い

3月、4月には、美瑛市、岩見沢市、栗山町、夕張市へ。障がいのある方でも働きやすい環境づくりの取り組みや、「岩見沢ねぶた祭」の継承に奮闘する大学生にお会いしました。また、町内外の方々に広く利用されるものづくり体験の場を見学し、持続可能な地域医療体制を支える新しい診療所も視察しました。



## 国内

### 北海道PRで全国駆け巡る



昨年12月には、羽田空港に誕生した「羽田産直館」の開業記念イベントに参加し、ホタテなど道産品の魅力をアピール。2月に大阪で開催された「ほっかいどう応援セミナー」では、北海道の企業立地の優位性について訴えました。1月には自動車や半導体産業の連携強化のため、愛知県、三重県を訪問。三重・松阪市では、「北海道」の名付け親でアイヌの人々の窮状を訴えた松浦武四郎の記念館を視察。地元の小学生から「イランカラナテ」とアイヌ語で歓迎を受けました。

## 海外

### 道の魅力発信に大きな手応え

昨年11月、3年ぶりの海外出張としてベトナムとシンガポールを訪れました。ベトナムでは、人材交流の関係強化に向けてベトナム政府との協力を確認。シンガポールでは、牛乳、ホタテ、ワインなど北海道の食や観光の魅力を発信。現地の皆さまから「とてもおいしい!」との声をいただき、大きな手応えを感じました。



### 十勝、渡島管内に新たな後援会発足!

「実現する会・十勝」の有塚利宣会長の呼びかけに応じ、昨年12月までに十勝管内18市町村で新たに後援会が発足。また、2月には福島町にも後援会が立ち上がり、石岡真会長から「北海道のため、日本のためにますます活躍を」との激励をいただきました。鈴木知事は各地の後援会をめぐり、皆さまとの懇談を重ねていきます。

